

こらぼ大森・地域イベント掲示板

こらぼ大森 水曜スポーツ

水曜日の夜にスポーツをしませんか？

日時：6月7日・14日・21日・28日（毎週水）

午後7：00～9：00 ※8月以降も予定。

会場：こらぼ大森 体育館

内容：毎週水曜日に開催する新しいスポーツの集いです。週ごとに種目を設定。

第1 / ボッチャ 第2 / バトミントン

第3 / 卓球 第4 / ソフティテニス

※第5水曜日がある日は特別企画を実施。

参加費：500円（各回）

お得な1種目年間参加費2,000円コースあり。

対象：どなたでもご参加ください。

運動に適した服装・靴・ドリンク持参ください。

主催・問い合わせ

NPO 法人大森コラボレーション

電話・FAX / 03-5753-7884



ボランティア募集！

こらぼ大森でボランティアをしませんか？

こらぼ大森を舞台にしたボランティア活動の担い手を募集中です。ボランティア未経験の方も大歓迎です。ボランティアの経験豊富な方の「こんなことなら出来ます！」といったようなお声かけもお待ちしています。

◎現在の主な取り組み

草花への水やり

各種イベント・夏まつりなどのお手伝い

ニュースや冊子の袋詰め

◎お申込み・お問い合わせ

右記連絡先までご連絡ください。



みどりのカーテンづくり

フォローアップ講座でお悩み解決

日時：①7月9日（日）午後1：30～2：30

②8月5日（土）午後1：30～2：30

会場：こらぼ大森 多目的室

内容：①受粉の方法など（ゴーヤの実をより大きく）

②収穫の方法、ネットの片付け方など

グラウンド横に移動し、実地演習をします。

参加費：無料 ※お写真など持参歓迎

対象：みどりのカーテンづくりでお悩みの方

講師：吉井 寛之 さん

（NPO 法人東京城南環境カウンセラー協議会）

主催：お問い合わせ：こらぼ大森 情報交流室1

電話・FAX / 03-5753-6560



子ども造形教室 「つくってみよう かいてみよう」

素材と遊び・楽しみのびのび成長しよう

日時：6月5日・26日（月）午後2：30～3：30

会場：こらぼ大森2階 おおたオーガニックファーム

内容：お家で取り組むのがなかなか難しいような

色々な素材を用いた工作や絵を描きます。

参加費：1,000円（ジュース代込み）

※大人の方は別途1オーダーお願いします。

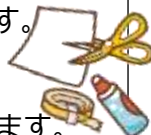
対象：幼稚園児・小学生（幼児の方は保護者と参加）

汚れてもいい服でいらしてください。

講師：山本 ゆう さん（東京藝術大学博士課程 卒業）

主催・問い合わせ：

こらぼ大森 情報交流室Ⅱ（電話 03-3763-7314）



発行：こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX：03-5753-6560

E-mail：c b c 10286@nifty.com

URL：http://collabo-ohmori.com/

住所：大田区大森西 2-16-2

大田区民活動支援施設大森【こらぼ大森】

こらぼ

大森ニュース 第23号

2017年6月1日 発行

- 葉っぱの上にかたつむり みつかるかな？
- LET'Sこらぼ 男女が一緒になって バレーボール！
- ホップ・ステップ ボランティア
- 本：稼ぐまちが地方を変える
- 掲示板「こらぼ大森水曜スポーツ」「子ども造形教室」など



葉っぱの上にかたつむり みつかるかな？

梅雨のこの時期、街角にもアジサイの可愛らしい花が見られるようになりました。こらぼ大森の玄関でも、様々に色が変化するアジサイの花が私たちの目を楽しませてくれています。イラストのように梅雨空に誘われて、かたつむりも顔を出すかもしれませんね。

こらぼ大森は、初夏の草花が風に揺られながら皆さんをお迎えしています。

Let's こらぼ



スポーツを楽しむには、体力差や安全などを考慮したルールが必要です。男女共に行う「混合スポーツ」は、参加者の性質上、特別にルールを定めるなど配慮がいるようです。

こらぼ大森ご利用いただき、混合バレーボールの普及活動を行う日本混合バレーボール協会の大江会長にご寄稿をいただきました。

男女が一緒になって バレーボール！

NPO 法人 日本混合バレーボール協会
会長 大江 芳弘 さん

2005年6月にNPO法人日本混合バレーボール協会を設立しました。それまでレクリエーションとして行われていた男女ミックスの大会を参考にして、より男女のバランスよく、安全に生涯スポーツとして楽しめるように、そしてより広域に渡り活動を広めるために協会を設立しました。

現在では大会の運営だけではなく、在留外国人の方のためのバレーボールを行う環境づくりもしています。設立時より、共同事務室や倉庫・ロッカーを借りながら、こらぼ大森で活動をさせていただいています。

「混合バレーボール」は、男性と女性が共に競い合える『数少ない団体』スポーツのひとつです。コート上の構成は男女各3名になります。日本におけるメジャーな男女混合のスポーツは、どれもチーム編成の人数が奇数のスポーツばかりです。

奇数スポーツでは男女が半々に参加することは出来ないため、男女平等な競技とはなりえません。6人制混合バレーボールは男女が同じ土俵の下、平等に競技できる素晴らしいスポーツになりうるわけです。男女が1つのコートで共に戦うことに危険と考える方も多いと思いますが、実際多くの女子選手は男性コーチのアタックを練習の時に受けているはずですよ。

また、男性同士でも上手な選手と初心者選手での試合は危険が付きまといます。

混合大会は男子大会、女子大会よりけが人は少ないとのデータもあります。但し、上級者チームは安全面を考慮し、初心者がいるチームとの対戦では『思いやり』を持ったプレーが必要になります。

現在、2020年に混合バレーボールの世界大会を開催するために様々な方々との連携を模索しています。特に、大会の御手伝いをしてくださる方、海外の選手と同行いただける通訳ボランティアの方を求めています。

NPO法人日本混合バレーボール協会事務局
電話：03-6755-8291



▲ロシアでの世界大会（2017年4月開催）

ホップ・ステップ ボランティア

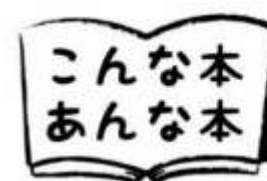
子ども交流センターでは、たくさんの方がボランティアとして協力くださっています。幼児クラブや学童保育などにボランティアとして関わっている菊西早苗さん・遠藤かえでさんにお話を伺いました。おふたりは、もともと子ども交流センターの幼児クラブに親子で一緒に通ったお友達。お子さんが大きくなって幼児クラブを「卒業」しても、子育ての思い出のつまった幼児クラブで、その後もお手伝いをしています。

◇大事だと思うことは何ですか？

例えば、上の子と下の子2人連れて来た時、下の子が泣き出すとママはもう上の子まで見られない時があります。その時は、下の子を見てあげるとお母さんとお兄ちゃんがプログラムに参加しやすくなりますよね。おうちではできない親子の体験をしてほしいと思い、その時間のお手伝いをさせていただいています。あくまでも、いろいろな方をサポートする立場だというのが大事だと思います。

◇学童保育のサポーターはいかがですか？

昨年から、わが子が中学生になり、少しまた時間が取れるようになったので、春休みからは週3回学童保育の「サポーター」として子ども達の見守り等をお手伝いさせていただいています。



稼ぐまちが地方を変える

—誰も言わなかった10の鉄則—

助成金に依拠した「まちづくり」や「商店街活性化」はなかなかうまくいきません。「助成金でもだめなのに『稼ぐ』なんて」、とタイトルだけで敬遠したくなるところですが、この本で『『まちを经营する』という視点に立って、実践者が必ずぶち当たる壁とその回避方法』と筆者がいう「鉄則」は、筆者の実体験に裏打ちされたシンプルで説得力のあるものです。この本は新書版で入門書ですが、さらに実践的な解説書「まちで闘う方法論」もコーナーに揃っています。



▲遠藤かえでさん / 菊西早苗さん

自分の子どもと違って他人の子どもを注意するのは難しいなと思います。

例えば、おやつの時間など、ちょっとはじけすぎて羽目を外しそうになる子もいます。そんな時はボランティアだからと躊躇する事なく、注意するようにしています。

◇ボランティアが負担にはなりませんか。ご自分に役に立っていることは？

初めは、わが子が大きくなってきて、幼稚園に送り出してからの昼までの時間、無理のない範囲でお手伝いを始めました。

子どもが思春期に入ってからにはちょっとギスギスした時など、交流センターで癒されている感じがします。子ども達と接していると心が洗われる気がします。

おふたりのようなボランティアの協力もあり、子ども達も楽しい時間を過ごすことが出来るのでしょうか。キラキラした笑顔でお話してくださるおふたりの笑顔が印象的でした。



著者：木下 斉
出版：NHK出版新書